

回	日付	担当者(メイン)	タイトル	コンテンツ
1	2016年4月12日	*池田	臨床コミュニケーション入門	ヒューマンコミュニケーションとはなにか、コミュニケーションの定義、対人コミュニケーションとしての臨床コミュニケーションについて紹介、解説し、この授業の目論見について説明します。各人の自己紹介などをおこないアイスブレイキングを通して、この授業のキックオフとします。
2	2016年4月19日	*宮本	臨床コミュニケーション入門(承前)	授業登録期限直前のために、前回の授業の紹介をなるべく重複しないようにパラフレイズして解説し、早速、授業運営の解説に引き続き、臨床コミュニケーションに関するグループ討論と発表をおこないます。
3	2016年4月26日	*宮本	予防接種とヘルスコミュニケーション	予防接種の疫学的根拠にもとづく公益性と、接種事故の危険性という被接種当事者のリスク認識、という2つの事象にまつわる齟齬について、それぞれの立場性を明確にしながら議論します。両者の側の主張が相反的にならないヘルスコミュニケーションの可能性について考えます。
4	2016年5月10日	*池田	人工知能との対話	人工知能(AI)と呼ばれているものは、コミュニケーション研究においていつも論争的な立場に「いる」——これは存在論的意味付け。そして、実際にコミュニケーションしてみようという利用者が「知性」と感じることができればAIとみなしてよいというのがチューリング・テストの意味付けである——認識論的な定義付け。だが、実際には言語ゲームというシャドー・ボクシングができればOKというものもある——これは語用論的な意味付け。AIの研究開発史の興味深いエピソードから「人工知能との対話」について考えてみたい。
5	2016年5月17日	本間	伝達かコミュニケーションか	ブラジルの教育者パウロ・フレイレのテキストを読みながら、伝達、コミュニケーション、対話について考えます。
6	2016年5月24日	*宮本	ICTは対人コミュニケーションの代替物になれるか？	社会のさまざまな箇所で、ICT(情報通信技術)を使ったコミュニケーション・メソッドの刷新がおこなわれています。ICTの議論をすると必ず出てくるのは、ヒューマンコミュニケーションとの比較です。ICTは正確だが《人間性がない》というものです。正確なもの《人間性》は共存可能なのでしょうか？ICTを《人間性》と対立するものではなく、むしろ補完するものだという意見もあります。ヘルスコミュニケーションにおけるICTの可能性とその限界について考えます。
7	2016年5月31日	本間	サン=テグジュペリ「星の王子様」から考える	サン=テグジュペリ「星の王子様」を題材にして、コミュニケーションの諸相について考察します。
8	2016年6月7日	*池田	自分とのつきあい方	対人コミュニケーションのマニュアルには、他人とのつきあい方や、社会とのつきあい方、あるいは学生や大学院生向けには教授(指導教授)とのつきあい方というものまであります。しかし、よく考えてみると、私たちがつきあっている最初で最大の《他者》とは自分自身なのではないかという気がします。対人コミュニケーションの本質を逆照射するために、自分とのつきあい方について、真面目に考える時が来たようです。
9	2016年6月14日	本間	コミュニケーションを観察する(ビデオ編)	ビデオ映像をみながら、わたしたちがどのようにコミュニケーションに参加し、人と交流し、意味を与えているかについて話しあいます。
10	2016年6月21日	宮本	良きサマリア人のたとえについて	ルカによる福音書(10:25-37)にある「良きサマリア人のたとえ」はこれまで夥しい宗教的な実践のあり方に関する議論において使われてきたエピソードです。しかし近年では臨床倫理や臨床コミュニケーションの実践倫理の議論の素材としてよくその組上にあがります。《自己が善行を実践する》ことと《他者が善行を受ける》ことの相互連関の意味について考えてみます。
11	2016年6月28日	*池田	痛みをつたえる	対人コミュニケーションの教書にはしばしば《共感》という言葉が呪文のように出てきます。でも《共感》というものが、理性的な相互理解なのかそれとも情動のような共同体験なのか、どのようにしたら《共感》が可能なのか、納得できるような説明に出会うことは皆無に近いのではないのでしょうか。他人の痛みは《感じる》が、他人が痛がっていることは《理解できる》のはなぜなのでしょう？痛がっている人が自分が使えない言葉を使っている時、《共感》するためにはまず何が必要なのか、よく考えてみましょう。
12	2016年7月5日	本間	表現行為を通じたコミュニケーション	「絵を書く」「詩文を交換する」など、表現するという行為を体感することを通してコミュニケーションの本質に迫ります
13	2016年7月12日	本間	コミュニケーションの例を観察する(ハラ立ち／ムかつく経験)	「ハラが立った」「ムかつく」など、日々のコミュニケーションにかかわる様々な例を受講者どうしで出しあい、それを支えている諸前提をあぶり出します。
14	2016年7月19日	まとめ(池田)	プレゼン大会か試験	ヒューマンコミュニケーションとはなにか、コミュニケーションの定義、対人コミュニケーションとしての臨床コミュニケーションについて、最後にふり返り、この授業が皆さんにとって何であったのか？ どのような意義があったのか？／なかったのか？についてディスカッションを通して検証します。
15	2016年7月26日	(自習)		